

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 中央化学株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 365-8603 埼玉県鴻巣市宮地 3 丁目 5 番 1 号	
本票作成	部署名：岡山工場 生産技術係				
主たる業種	分類コード	18	業種名：プラスチック製品製造業（別掲を除く）		
事業の概要	プラスチック食品容器製造				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		美作市北山 3 2 1	
	②	西日本ハブセンター		美作市竹田 1 4 5 - 2 5	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 3 年度 ~ 令和 7 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 2 年度)			目標年度 (令和 7 年度)					
	5,395 t CO ₂			5,127 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 2 年度) の排出量					
	①	岡山工場		5,313 t CO ₂					
	②	西日本ハブセンター		82 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	生産数量		基準年度	目標年度
			258	245
		kg CO ₂ / (t)	kg CO ₂ / (t)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 2 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ設備導入や生産性向上対策などにより、省エネ法が求める電力原単位年1%以上の改善を目標として、省電力に取り組みます。
 温室効果ガス排出量の目標についても、原単位基準で、生産数量あたりの排出量を年1%削減することを目標としました。

【目標削減率達成のための推進体制】

ISO14001 認証取得済み
 環境目的に動力電力原単位の改善をとりあげ、生産技術課で目標の達成に向けて取り組んでいる。
 省エネ委員会を月1回開催し、工場全体で省エネ活動を推進している。
 全社的に実施している「Act-8」活動により、生産性向上に取り組んでいる。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
岡山工場	永久磁石型同期モーター導入 最新型成型機導入 最新型裁断機の導入 バッテリー式フォークリフトの導入 高天井水銀灯及び蛍光灯のLED化 最新型コンプレッサーへの更新と台数制御装置導入 インバータ式真空ポンプの導入 空調設備の省エネタイプへの更新

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
岡山工場	コンプレッサー・真空ポンプの効率的な運転 生産ラインの稼働率向上への取り組み 型替え時間短縮・故障停止時間短縮 押出機永久磁石型同期モーター導入 高効率モーターへの更新 新規再生押出機導入による省電力 アモルファス変圧器導入による省電力

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

岡山工場 岡山県ゼロエミッション事業所認定

海外での取り組み 中国の規制に準拠した環境配慮型の製品開発、製造販売

全社 第3次環境負荷低減5カ年計画（2017年～2021年）実施中
 使用済みプラスチック食品容器のリサイクル・環境型リサイクル普及啓発活動
 環境配慮型素材・製品の開発、グリーン購入の推進
 物流の取り組み 地産地消による輸送関連CO₂排出量削減